

<災害発生時の対応（保護者用）>

1 震度5強以上の地震が発生した場合 〈学校は、児童を保護者のもとに返すことを前提に対応します〉	
登校前の発生	①自宅（安全な場所）待機とします。 ②余震等が続くあるいは学校施設の損壊など、登校時や登校後の危険が予想されると判断した場合、臨時休校とします。その際は学校より保護者宛に、一斉メールにて連絡をします。 （連絡がとれない場合、正午までに連絡がなければ臨時休校と判断してください。） ③余震等が沈静化し学校施設等に被害がないことが確認できた場合、一斉メールにて、授業再開の連絡をします。児童は必ず学校からの連絡を受けてから登校させるようにしてください。
登下校時	①児童は、通学路の状況に配慮しつつ安全な場所に移動します。沈静化した後、学校か自宅か近いところに移動します。登校時に自宅に戻った場合は、班長から学校に連絡をお願いします。 ②通学路で地震にあった場合、学校以外に、児童生徒がどこに避難している可能性があるかについて、家庭で話し合っておいてください。
在校中の発生	①教師は、直ちに授業等を中止し、児童を安全な場所に避難させます。 ②保護者への引き渡しを行うことを原則とします。 ※通信手段が確保できない場合においても、下野市の震度が5強以上の時は、保護者や家族の迎えをお願いします。 ③引き渡しができない場合は、児童を安全な場所にて待機させます。都合が付きしだい、迎えをお願いします。
※「震度5強」は「下野市」の値とする。 （「震度5強」は、市災害対策本部が開設される基準として設定されている値） ※NTT災害用伝言ダイヤルにも学校の情報を登録いたしますので、電話が使える場合には、そちらでも情報を確認してください。	
[伝言の再生] ① 「171」にダイヤルする。 → ガイダンスが流れる。 ② 「2」をプッシュする。 → ガイダンスが流れる。 ③ 学校の電話番号（0285-44-5002）を市外局番からダイヤルし、伝言を再生する。 → 新しいメッセージから再生される。	

2 突風等が発生した場合

登校前

①自宅（安全な場所）待機とします。
②学校施設の損壊など、登校後の活動が不可能な場合には臨時休校とします。その際は、学校より保護者宛に一斉メールにて連絡をします。学校からの連絡がない場合には、突風等が行き過ぎた後、児童生徒を登校させてください。

※通常の登校時間以外の登校となった場合も、登校班で登校させてください。

登下校時

①登校時に発生した場合、児童は、通学路の状況に配慮しつつ安全な場所に移動します。突風等が行き過ぎた後、学校に移動します。
②下校時に発生した場合、児童は、通学路の状況に配慮しつつ安全な場所に移動します。突風等が行き過ぎた後、帰宅先に移動します。

在校中の発生

①教師は、直ちに授業等中止し、児童を安全な場所に避難させます。
②学校では、被害状況を確認し、活動が続行可能か否かの判断をします。活動続行が不可能で、児童を帰宅させることと判断した場合、一斉メールにて連絡をします。その場合、保護者への引き渡しを原則としますので、迎えをお願いします。

※突風等発生判断は、目視によるところが大きいため、発生場所近くでの判断が必要となります。また通過範囲が限定されるため、市内一律ではなく学校毎に、状況を判断し対応することになります。